

令和4年3月25日

第28回 国際エネルギー機関(IEA)閣僚理事会
加盟国声明仮訳

本日、国際エネルギー機関(IEA)の加盟国閣僚は、世界のエネルギー安全保障とクリーン・エネルギーの展開に関する議論のために集まった。我々は、人命を奪い、欧州の平和と安全を根底から覆したロシアのウクライナへの違法な侵攻を、最も強い言葉で非難する。ロシアの侵攻は、世界のエネルギー安全保障と民主主義の原則を脅かすものである。エネルギーを武器として使用することを含むロシアの行動は、第二次世界大戦の終結以来支配してきたルールに基づく国際秩序を脅かすものである。エネルギーは、政治的脅迫や国家安全保障を脅かす手段として決して使われてはならない。我々は、ロシアが軍事的侵略を直ちに停止し、ウクライナの全領土から軍隊を撤退させ、ウクライナの領土保全、主権および独立を完全に尊重することを要求する。

我々はさらに、ウクライナとウクライナ国民、そしてその民主的に選出された政府との連帯を表明する。我々は、この無分別な戦争の罪のない犠牲者に深い哀悼の意を表す。我々は、学校、病院、民間のエネルギーインフラを含むウクライナの民間人および民間インフラに対するロシアの攻撃を強く非難する。我々は、ウクライナと同僚が本日の議事に参加し、ウクライナとそれ以外の地域のエネルギー安全保障についての見解を共有したことに感謝する。我々は、ウクライナのエネルギー安全保障上の課題への対応を支援し、世界のエネルギー供給の安全性をさらに高めるため、IEA内および多国間期間の間で協調して行動することを歓迎する。我々は、パリ協定の目標に従って、エネルギー移行を加速し、ネット・ゼロへの解決策に向けてエネルギー・システムをさらに多様化する必要性を強調する。

我々は、石油・ガスへの依存を減らすために、省エネルギーが重要な役割を果たすことを認識する。我々は、IEAの石油使用削減のための10箇条計画を歓迎し、IEAに対し、各国の事情に基づき、加盟国とともに需要側の対策を自主的に実施するためのフォローアップを行うよう要請する。